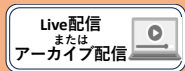


実際にデモンストレーションを交えながら、生成AIの使いどころを解説します！

# 生成AIを活用した発明創出と特許戦略設計の高度化



- 日時：2026年3月17日(火) 13:00～16:30
- 聴講料：1名につき 49,500円（消費税込、資料付）
- 会場：Zoomを使用したLive配信
- 〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円（税込）〕
- ※アーカイブ配信は3/27～4/6に実施
- 〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。〕

**講師：弁理士法人スズエ国際特許事務所 代表社員 所長弁理士 赤堀 孝 氏**

【略歴】元・京セラ(株)、元・住友金属工業株式会社（現日本製鉄）、元・東京エレクトロン株式会社

1. 生成AIの最新動向とR&D×知財連携の必要性
2. 発明創出プロセスの再設計とAI活用の全体像
  - 2.1 発明創出フローの可視化：従来方式とAI活用方式の比較
  - 2.2 アイデア創出時にAIを使うべき場面／使うべきでない場面
  - 2.3 R&Dテーマ設定と知財企画の橋渡しに必要な要件
3. AIによる発明提案書の生成と技術要素の構造化
  - 3.1 発明者ヒアリング内容のテキスト化・要素抽出
  - 3.2 AIマインドマップによる技術要素の自動階層化
  - 3.3 課題・解決手段・作用効果の自動整理
  - 3.4 類似技術の自動サジェスト（特許／論文横断分析）
4. 先行技術調査（Prior Art Search）の高度化
  - 4.1 検索キーワードのAI自動生成（シソーラス拡張）
  - 4.2 IPC・CPC分類を用いた自動検索戦略設計
  - 4.3 特許群要約・要旨比較の自動化
  - 4.4 生成AIによる非特許文献（論文・ペーパー）の統合分析
5. 発明の新規性・進歩性の事前検証（AIによるPre-FTO的分析）
  - 5.1 引用文献との構成比較表のAI自動生成
  - 5.2 クレーム構成要素の精緻な分解とマッピング
  - 5.3 競合技術との差異抽出・差別化ポイントの可視化
6. AIを用いたクレームドラフティング技術
  - 6.1 広い概念・狭い概念のAI生成とバリエーション管理
  - 6.2 実施例／効果の一貫性確保のための文脈保持（RAG活用）
  - 6.3 マルチクレームセットの自動生成（請求項1→従属項群）

7. 意見書案・補正書案作成の半自動化
  - 7.1 審査官拒絶理由の自動要点抽出
  - 7.2 反論ロジック（相違点・阻害要因・作用効果）の自動生成
  - 7.3 補正書案の自動生成と法的妥当性チェック
8. AIによるR&Dテーマ創出と技術ロードマップ作成
  - 8.1 特許ビッグデータによる技術トレンド抽出
  - 8.2 新規テーマ候補の生成とスコアリング
  - 8.3 5年・10年視点の技術ロードマップAI生成
9. 知財ポートフォリオ戦略の高度化
  - 9.1 PatentSight+®を用いた特許価値スコアのAI活用
  - 9.2 コア技術・周辺技術の自動クラスターリング
  - 9.3 ライセンス可能領域の抽出と収益機会分析
10. AIによる競合企業の知財・技術動向把握
  - 10.1 出願傾向の自動可視化（IPC・出願人・年度別）
  - 10.2 技術アーキテクチャ比較（例：EUV等の特許クラスター分析）
  - 10.3 M&A候補企業の技術強みの自動抽出（SPEEDA®活用）
11. AI活用時のリスクとガバナンス
  - 11.1 機密情報流出リスクとその対策（オンプレ／API方式）
  - 11.2 生成AI特有のハルシネーションと品質管理プロセス
  - 11.3 著作権・二次利用・クリーンルーム対応
12. 社内展開・導入プロセスの実務ノウハウ
  - 12.1 R&D／知財の横断プロセス設計
  - 12.2 社内教育のカリキュラム構築
  - 12.3 部門別AI利用ガイドラインの作成

【質疑応答】

## 「生成AI発明特許」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

- ☐ Live配信 (No.603234) 開催日：3 / 1 7
- ☐ アーカイブ配信 (No.603284) 配信期間：3 / 2 7～4 / 6

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX（03-5436-7745）にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名（フリガナ）	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください（現在案内が届いている方も再度ご指示ください） 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・ 今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			

## ●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。  
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります